

高知県感染症発生動向調査（週報）

2019年 第20週 （5月13日～5月19日）

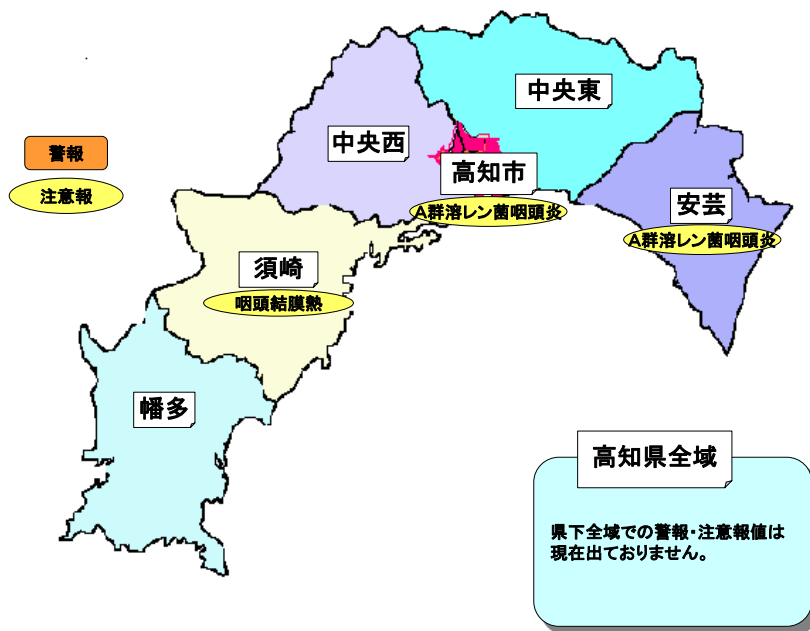
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

↑ : 急増
 ↗ : 増加
 → : 横ばい
 ↘ : 減少
 ↓ : 急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	↗	5. 53	中央西、須崎で急増、県全域、幡多で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	2. 37	幡多、中央西で減少していますが、安芸、須崎で急増、県全域、中央東で増加し、安芸、高知市では注意報値を超えています。
突発性発疹	→	0. 47	幡多で急減していますが、中央東で増加しています。
咽頭結膜熱	↗	0. 43	須崎、中央東で急増、県全域、高知市で増加し、須崎では注意報値を超えています。
手足口病	↑	0. 37	県全域、高知市、須崎で急増しています。

★地域別感染症発生状況



【感染症予防の基本】

手洗い

感染症予防の基本は、手洗いです。帰宅時や調理の前後、食事前、トイレ後など石けんと流水で十分に手を洗いましょう。



咳エチケット

咳やくしゃみのある時にマスクを着用し、「周りの人に病気をうつさない」ためのマナーです。



<予防方法> 手洗い、咳エチケットが有効です

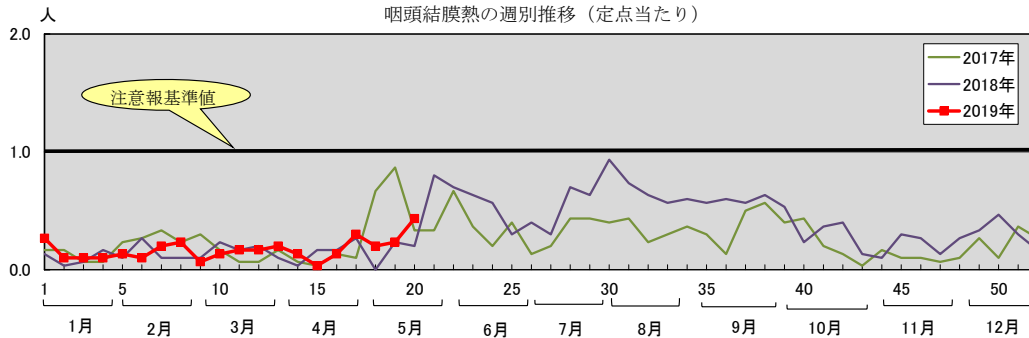
患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」あるいは細菌が付着した手で口や鼻に触れる「接触感染」が主な感染経路になります。患者との濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットを心掛けましょう。

○咽頭結膜熱（プール熱）に気を付けて！

発熱・咽頭炎及び結膜炎を主症状とする急性のウイルス感染症です。

潜伏期は5～7日で、症状は発熱、咽頭炎（咽頭発赤、咽頭痛）、結膜炎が三主症状です。

小児、特に5歳以下に多く、例年5月中旬から下旬頃にかけて患者数が増加し始め、7月下旬から8月上旬をピークとする流行が見られる夏期の疾患で、プールを介して流行することが多いことから、「プール熱」とも呼ばれています。



<予防方法> 手洗い励行、タオルなどの共用は避けましょう

- ・流行時には流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう
- ・感染者との密接な接触は避けましょう
- ・タオル等は別のものを使いましょう



☆ダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS）に注意！

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖かい春から秋にかけて盛んに活動し、この期間に多くの患者発生がみられますが、冬でも発生例が報告されています。暖かくなってきましたので、屋外で活動される場合はマダニ対策を心がけましょう（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

国内で入手できる忌避剤の種類と特徴

忌避剤	有効成分含有率	分類	有効持続時間	注意事項	特徴
ディート	5～10%	防除用 医薬部外品	1～2時間	6ヶ月未満児には使用禁止	・独特の匂い ・べたつき感 ・プラスチック・化学繊維・皮革を腐食することもある
	12%	防除用 医薬品	約3時間		
	高濃度製剤 30%	防除用 医薬品	約6時間	12歳未満は使用禁止	
イカリジン	5%	防除用 医薬部外品	～6時間		
	高濃度製剤 15%	防除用 医薬品	6～8時間		

※国立感染症研究所「マダニ対策、今できること」より抜粋
※市販の虫除け剤（忌避剤）は、用法・用量・使用方法等をよく読んで使用してください。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html
- 高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
20	不明熱	39℃,咳嗽,発疹,	1	女	須崎	Cytomegalovirus
20	不明発疹症	40℃,下痢,咳嗽,発疹,	6ヶ月	男	須崎	Cytomegalovirus
20	インフルエンザ	39℃,上気道炎,	11	女	幡多	Influenza virus B/Victoria
20	感染性胃腸炎	38℃,嘔吐,嘔気,関節痛,	3	男	中央東	Norovirus GII NT
20	感染性胃腸炎	下痢,嘔吐,嘔気,腹痛,	7	男	中央東	Norovirus GII NT
20	感染性胃腸炎	38℃,下痢,嘔吐,嘔気,	3	女	中央東	Rotavirus group A G9

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
19	上気道炎	40℃,上気道炎,	3	男	高知市	Adenovirus 1
19	感染性胃腸炎	38℃,嘔吐,嘔気,	6ヶ月	男	高知市	Adenovirus 41
19	—	嘔吐,嘔気,咳嗽,	3	男	中央東	Rhinovirus
19	咽頭結膜炎	39℃,結膜炎,	8	男	中央東	Rhinovirus
19	インフルエンザ様疾患	40℃,気管支炎,	1	女	幡多	Rhinovirus

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所	
2 類	結 核	1	45	20 歳代 男	高知市	
		1		20 歳代 女		
		1		30 歳代 女		
		1		60 歳代 男		
		1		60 歳代 女		
		1		80 歳代 男		
		1		90 歳代 男		
4 類	A 型肝炎	1	1	60 歳代 男		
5 類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	2	50 歳代 女		
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	10	80 歳代 男	安 芸	
		1		40 歳代 男	高知市	
		1		70 歳代 男	幡 多	
	梅 毒	1	8	30 歳代 女	高知市	
		1		40 歳代 男		
	百日咳		1	75	5~9 歳 女	中央東
			1		40 歳代 女	
			1		5~9 歳 男	高知市
1			5~9 歳 女			
1			5~9 歳 女			
1			5~9 歳 女			

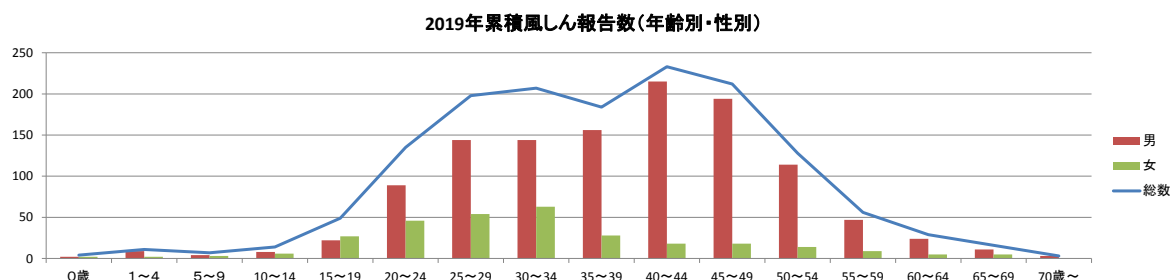
★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
安 芸	田野病院小児科	アデノウイルス胃腸炎 1 例 (1 歳女) ノロウイルス+アデノウイルス胃腸炎 1 例 (6 ヶ月女)
中央東	おひさまこどもクリニック	hMPV 気管支炎 1 例 (2 歳女) 19 週：病原性大腸菌 O-25 腸炎 1 例 (10 歳男)
	早明浦病院小児科	ノロウイルス 4 例 (1 歳男女、2 歳女、3 歳男) RS ウイルス感染症 1 例 (1 歳男)
	野市中央病院小児科	ノロウイルス 1 例 (2 歳女)
	高知大学医学部付属病院小児科	hMPV 気管支炎 1 例 (1 歳男) ノロウイルス 1 例 (2 歳男)
高知市	高知医療センター小児科	hMPV 1 例 (4 歳女) 病原性大腸菌 1 例 (1 歳女) ノロウイルス 2 例 (8 ヶ月女、1 歳男) ロタウイルス 2 例 (1 歳男、6 歳男)
	けら小児科・アレルギー科	ノロウイルス 10 例 (1 歳 6 人、2 歳、3 歳 2 人、32 歳) ロタウイルス 2 例 (1 歳、5 歳) サルモネラ O-7 1 例 (4 歳) カンピロバクター 3 例 (8 歳、10 歳、13 歳) アデノウイルス咽頭炎 4 例 (0 歳 2 人、1 歳、9 歳) hMPV 気管支炎 2 例 (0 歳、1 歳)
	三愛病院小児科	hMPV 1 例 (1 歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症 2 例 インフルエンザ B 型 1 例 (7 歳男) 胃腸炎がはやっている
	ふないキッズクリニック	ロタウイルス 1 例 (2 歳女)
	細木病院小児科	ノロウイルス 1 例 (10 ヶ月女) ロタウイルス 7 例 (2 ヶ月女、1 歳男女、3 歳男、4 歳男 2 人、9 歳男) カンピロバクター 3 例 (1 歳女、11 歳女、13 歳女)
中央西	くぼたこどもクリニック	溶連菌感染症 1 例 (1 歳女：須崎市) 感染性胃腸炎 3 例 (3 歳女 2 人、5 歳男：兄妹、須崎市)
	日高クリニック	アデノウイルス扁桃炎 3 例 (9 ヶ月女、1 歳男、1 歳 4 ヶ月男)
須 崎	もりはた小児科	ノロウイルス 1 例 水痘 1 例 (6 歳：ワクチン 1 回済み) 百日咳 1 例 (12 歳)
幡 多	さたけ小児科	マイコプラズマ 1 例 (4 歳女) hMPV 2 例 (2 歳女、4 歳女)

★県外で注目すべき感染症

○風しんの届出数が多い状態が継続しています

2019年第1週～19週の報告数は1486人となっており（2018年の同時期全国で17人）、94%（1401人）が成人で、30歳から50歳代の男性を中心に（男性1186人、女性300人）に報告数の多い状態が継続しています。



報告数の多い都道府県は、東京都、神奈川県、千葉県、大阪府、埼玉県以外に福岡県、兵庫県、愛知県、広島県、北海道など首都圏以外の地域からも報告が認められています。

今後、感染が拡大する可能性がありますので、人混みを避けるなど今後さらなる注意・予防に努めましょ
う。

【風しんについて】

症 状 : 発熱、発疹、リンパ節の腫れ

感 染 経 路 : 患者の咳やくしゃみのしぶきによる飛沫感染および接触感染でヒトからヒトへ感染

潜 伏 期 間 : 2～3週間程度

感染性のある期間: 発疹のでる7日前から発疹出現後7日くらいの間

【風しんを疑ったら】

発熱や発疹など風しんに特徴的な症状が現れた方は、必ず事前に医療機関に連絡の上、受診してください。

【予防方法】

- ・風しんの予防、感染の拡大防止には予防接種が効果的です。

風しんの定期接種対象者は、予防接種を受けましょう（1歳児、小学校入学前1年間の幼児の方）

- ・風しんに感染した方の周りに抗体の低い妊婦がいる場合、特に妊娠20週頃まで（妊娠初期）の女性が風しんに罹ると胎児が風しんウイルスに感染し、難聴や心疾患など様々な障害（先天性風しん症候群）をもった赤ちゃんが生まれる可能性があります。妊婦や赤ちゃんを守る観点から妊婦の周りの方（夫、子供及びその他の同居人）は風しんに罹らないように予防に努めましょう。

【風しんの抗体検査について】

県及び高知市は、風しん及び先天性風しん症候群の発生の予防及びまん延防止を図るため、高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性やその家族などに対して無料の風しん抗体検査を実施しています。

抗体検査を実施する医療機関により検査受付は異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）。

無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/fushinkensa.html>

【各医療機関管理者の皆様へ】

（高知県健康対策課 平成30年8月17日付け30高健対第859号「風しんの届出数の増加に伴う注意喚起」より）

- 1) 発熱や発疹を呈する患者を診察した際は、風しんに罹っている可能性を念頭に置き、最近の海外渡航歴及び国内旅行歴を聴取し、風しんの予防接種を確認するなど風しんを意識した診察をお願いいたします。
- 2) 風しんを疑う患者を診察した際は、確定診断のためのウイルス検査を県衛生研究所で行いますので、直ちに最寄りの福祉保健所又は高知市保健所へ届け出るようお願いいたします。

●風しん Q&A2018年1月30日改訂版(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

●風しんについて（厚生労働省）

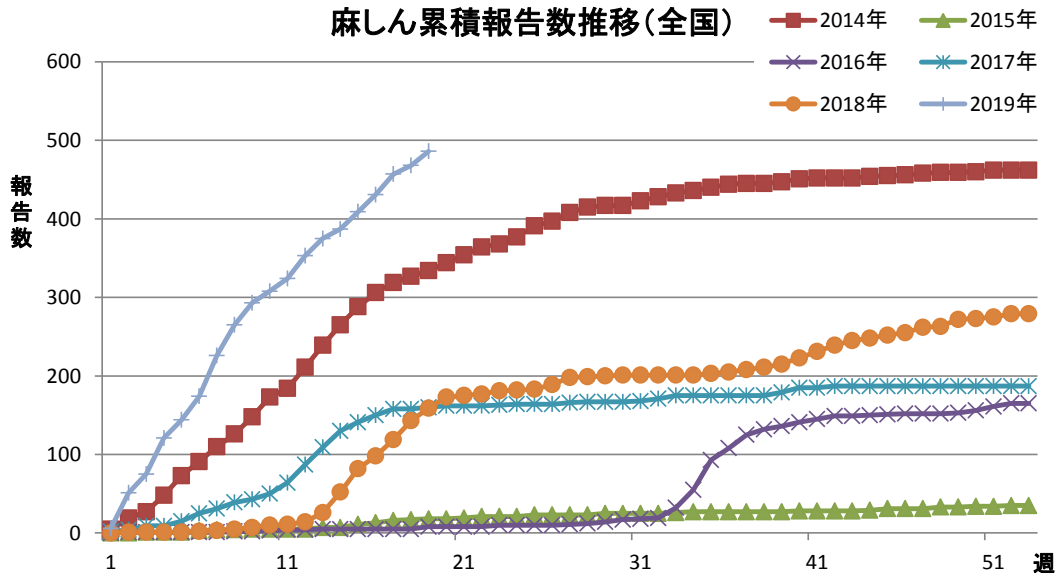
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/

●衛研ニュース第20号（高知県衛生研究所）30～50歳代の男性！風しんのことを知っていますか？

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2018101000056.html>

○麻疹に気を付けて！

麻疹については、平成 27 年 3 月 27 日付けで世界保健機関西太平洋地域事務局により日本が排除状態にあることが認定されましたが、その後も海外で感染した患者を契機とした国内での感染の拡大事例が散見されています。2019 年第 1 週～19 週の全国の麻疹の報告数は 486 人と過去 5 年で比較して多い状態が継続しています（累積報告数：2014 年 462 人、2015 年 35 人、2016 年 165 人、2017 年 187 人、2018 年 279 人）。今後、感染の拡大する可能性がありますので注意してください。



予防にはワクチン接種が有効です。定期接種の対象年齢になったら、予防接種を受けましょう。

【各医療機関管理者の皆様へ】

(高知県健康対策課 平成 31 年 3 月 4 日付け 30 高健対発第 1886 号「麻疹発生報告数の増加に伴う注意喚起」より)

- ①発熱や発しんを呈する患者を診察した際は、麻疹の可能性を念頭に置き、海外渡航歴及び国内旅行歴を聴取し、麻疹の罹患歴及び予防接種歴を確認するなど、麻疹を意識した診療をお願いいたします。
- ②麻疹を疑う患者を診察した場合は、所在地を所管する県福祉保健所又は高知市保健所に連絡し、確定診断のための県衛生研究所でのウイルス検査を行いますので、直ちに最寄りの福祉保健所又は高知市保健所へご連絡をお願いします。また、麻疹患者と確定した場合は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成 10 年法律第 114 号）第 12 条第 1 項の規定に基づき、所在地を所管する県福祉保健所又は高知市保健所へ速やかに届け出るとともに、麻疹の感染力の強さに鑑みた院内感染予防対策をお願いいたします。

●医療機関での麻疹対応ガイドライン第七版 平成30年5月（国立感染症研究所疫学センター）

https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/measles/guideline/medical_201805.pdf

●麻疹について（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html

●麻疹（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ma/measles.html>

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）

TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2019年5月20日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第20週 令和1年5月13日(月)～令和元年5月19日(日)

高知県衛生環境研究所

定点名	保健所 疾病名	第20週						計	前週	全国(19週)	高知県(20週末累計)		全国(19週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H30/12/31～R1/5/19	H30/12/31～R1/5/12		
インフル エンザ	インフルエンザ	1	1	7	1		1	11 (0.23)	23 (0.48)	3,636 (0.74)	13,722 (285.88)	1,407,112 (285.30)		
小児科	咽頭結核膜炎		3	5		2	3	13 (0.43)	7 (0.23)	1,545 (0.49)	103 (3.43)	20,010 (6.35)		
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	9	3	46	3	3	7	71 (2.37)	58 (1.93)	5,977 (1.89)	1,385 (46.17)	135,135 (42.91)		
	感染性胃腸炎	5	32	80	13	4	32	166 (5.53)	132 (4.40)	16,543 (5.23)	3,068 (102.27)	353,872 (112.38)		
	水痘			1	1	1		3 (0.10)	10 (0.33)	1,511 (0.48)	139 (4.63)	19,985 (6.35)		
	手足口病		1	9		1		11 (0.37)	2 (0.07)	1,304 (0.41)	38 (1.27)	12,431 (3.95)		
	伝染性紅斑		1	5	1			7 (0.23)	9 (0.30)	2,163 (0.68)	146 (4.87)	37,874 (12.03)		
	突発性発疹		3	9		1	1	14 (0.47)	15 (0.50)	1,418 (0.45)	170 (5.67)	21,280 (6.76)		
	ヘルパンギーナ							()	()	295 (0.09)	7 (0.23)	1,943 (0.62)		
	流行性耳下腺炎							()	()	313 (0.10)	17 (0.57)	5,241 (1.66)		
	RSウイルス感染症		1	3	2		1	7 (0.23)	2 (0.07)	792 (0.25)	336 (11.20)	25,789 (8.19)		
	眼科	急性出血性結膜炎							()	()	7 (0.01)	()	132 (0.19)	
		流行性角結膜炎							()	3 (1.00)	489 (0.70)	32 (10.67)	7,782 (11.23)	
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	8 (0.02)	1 (0.13)	185 (0.39)		
	無菌性髄膜炎							()	()	7 (0.01)	()	192 (0.40)		
	マイコプラズマ肺炎			4				4 (0.50)	3 (0.38)	49 (0.10)	52 (6.50)	1,480 (3.09)		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	()	3 (0.38)	41 (0.09)		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		1	9				10 (1.25)	8 (1.00)	260 (0.55)	84 (10.50)	3,244 (6.77)		
計 (小児科定点当たり人数)	15 (7.25)	46 (6.37)	178 (14.79)	21 (6.86)	12 (6.00)	45 (8.93)	317 (9.96)			36,317	19,303 (466.19)	2,053,728		
前週 (小児科定点当たり人数)	8 (4.00)	44 (6.00)	152 (12.43)	16 (4.53)	5 (2.25)	47 (8.95)		272 (8.31)						

注 () は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点当たり

第20週

定点名	保健所 疾病名	第20週						計	前週	全国(19週)	高知県(20週末累計)		全国(19週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H30/12/31～R1/5/19	H30/12/31～R1/5/12		
インフル エンザ	インフルエンザ	0.25	0.09	0.44	0.20		0.13	0.23	0.48	0.74	285.88	285.30		
小児科	咽頭結核膜炎		0.43	0.45		1.00	0.60	0.43	0.23	0.49	3.43	6.35		
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	4.50	0.43	4.18	1.00	1.50	1.40	2.37	1.93	1.89	46.17	42.91		
	感染性胃腸炎	2.50	4.57	7.27	4.33	2.00	6.40	5.53	4.40	5.23	102.27	112.38		
	水痘			0.09	0.33	0.50		0.10	0.33	0.48	4.63	6.35		
	手足口病		0.14	0.82		0.50		0.37	0.07	0.41	1.27	3.95		
	伝染性紅斑		0.14	0.45	0.33			0.23	0.30	0.68	4.87	12.03		
	突発性発疹		0.43	0.82		0.50	0.20	0.47	0.50	0.45	5.67	6.76		
	ヘルパンギーナ									0.09	0.23	0.62		
	流行性耳下腺炎									0.10	0.57	1.66		
	RSウイルス感染症		0.14	0.27	0.67		0.20	0.23	0.07	0.25	11.20	8.19		
	眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.19	
		流行性角結膜炎								1.00	0.70	10.67	11.23	
基幹	細菌性髄膜炎									0.02	0.13	0.39		
	無菌性髄膜炎									0.01		0.40		
	マイコプラズマ肺炎			0.80				0.50	0.38	0.10	6.50	3.09		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										0.38	0.09		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		1.00	1.80				1.25	1.00	0.55	10.50	6.77		
計 (小児科定点当たり人数)	7.25	6.37	14.79	6.86	6.00	8.93	9.96			466.19				
前週 (小児科定点当たり人数)	4.00	6.00	12.43	4.53	2.25	8.95		8.31						

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2019年 第20週)

